

121名の新入生の皆さん入学おめでとう！

4月8日(水)、令和2年度の入学式が挙行されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクを着用し、参加人数を抑え、時間も例年より短縮しての入学式でしたが、入学試験に合格した121名が綿貫校長から入学を許可され、藤岡北高校の生徒となりました。翌日から学校は休業という変則的な1年の始まりですが、新入生の皆さんは高校生としての自覚と希望を胸に日々を過ごし、学校再開を待ってください。

式辞



校長 綿貫 忠夫

本日、ここに令和2年度、群馬県立藤岡北高等学校「入学式」を挙行するにあたり、同窓会長・柳井様、PTA会長松原様並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、このように新入生の皆さんを祝福できることは、私ども教職員にとりましても、この上ない喜びであり、学校を代表いたしまして感謝を申しあげます。

また、保護者の皆様には、お子様の立派に成長した姿をご覧になり、感無量のこととお察し申しあげ、改めてご入学を心よりお祝い申しあげます。

ただ今、入学を許可いたしました121名の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは、人生で初めての試練ともいふべき、入学試験にみごと合格し、本日、晴れて本校の生徒として入学が認められました。この入学式に出席できていることの喜びや、これから始まる高校生活への期待や不安等で、大いに胸の高まりを感じていることと思います。今の感激と、これまで支えていただいた、ご両親やご家族、先生方など、多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからの高校生活を新たな気持ちで送ってほしいと思います。

さて、本校は昭和22年に群馬県多野農業学校として開校し、創立70年を超えた、長い歴史と

伝統ある農業高校です。創立以来、幾多の変遷を経て、多野藤岡を中心とする農業教育の拠点校として、発展してまいりました。

本校の校訓は「誠実 勤労 協同」です。そして、教育目標は、「豊かな心と個性を持ち、心身の調和の取れた人格の形成、社会の変化に対応した専門的な知識と技術の習得、地域の産業と社会の発展に貢献できる人材の育成」です。皆さんは、本校での充実した学校生活をとおして、社会で立派に活躍できる力を身に付け、地域を支える先輩たちの後を継いで、大きく変わりつつある時代を立派に支えていってほしいと願っています。

高等学校は、社会に出るための基礎的な学力や知識・技術を習得し、人間がより人間らしくなるための教育の場です。発達段階の中でも、一番色々なことを吸収できる年代ですので、教えられるのをただ待っているのではなく、自ら学習への課題意識をもち、しっかり集中して授業に取り組み、高い志をもち、自ら知識や技術を深めていくような態度と、それを継続する力を身に付けていってください。

中国の「論語」という書物に、「学んで思わざれば、則ちくらし。思いて学ばざれば則ちあやうし。」という言葉があります。「学んでばかりいて、自分で考えることをしないと、ものがよく見えない。また、自分で考えてばかりいて、他から学ぶことをしないと危険だ。」という意味の言葉です。つまり、真に学ぶと言うことは、客観的な知識を習得するだけではなく、自ら主体的に思考することだということです。また、現在、全世界を震撼させている新型コロナウイルス問題、つい先だって我が国でも話題となった、生活必需品をめぐる間違った情報発信をはじめとして、何が本当で何が間違っているのかなどをしっかりと見極められる力、間違った情報に踊らされることなく、数多く存在する様々な情報の中から、正しい情報をしっかりと判断できる力も、さらに養ってほしいと思います。

この入学の日を学習の原点とし、初心を忘れず、これからの高校生活が充実し、楽しいものとなるよう心がけてください。そして、三年後、生徒一人一人が目指す進路を実現し、地域産業の担い手として、愛校心や郷土愛をもって活躍できるよう、時間を大切に、一步一步着実に歩いて行ってくれることを期待してやみません。

保護者の皆様、私達は、今日から、ここにいる新入生の教育に真摯に、また全力で取り組んでまいりますので、なにとぞ、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、改めてお願いし申しあげます。

結びに、本日ご多用の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様には、心より御礼申しあげるとともに、今後とも本校へのご指導、ご鞭撻をお願い申しあげ、式辞といたします。

令和二年四月八日

今年度着任された先生方

令和2年度、新しく藤岡北高校に着任された先生方を紹介します。

綿貫 忠男	校長(農業)	
新木 克彦	先生(農業)	富岡実業高校より
竹内 希	先生(理科)	前橋東高校より
石関 道德	先生(数学)	前橋工業高校より
田胡 圭祥	先生(農業)	伊勢崎興陽高校より
西潟 諒人	先生(事務)	高崎高校より
中尾 馨	先生(公仕)	新任

よろしくお願ひいたします。

離退任された先生方

平成31年度末の人事異動で本校から離退任されたのは次の先生方です。

木村 剛	校長(農業)	退職
塚越 洋子	先生(数学)	退職
高野 覚	先生(農業)	富岡実業高校へ
小柏 洋輔	先生(理科)	桐生南高校へ
石関 将人	先生(農業)	熊谷農業高校へ
関 茉莉子	先生(農業)	大泉高校へ
中島 郁実	先生(農業)	富岡実業高校へ
新井 哲	先生(事務)	県教育センターへ
神澤 久男	先生(公仕)	退職

今までありがとうございました。



校長 式辞



新入生代表宣誓 山内桃花さん(新町中卒)

新着図書 紹介

* 図書館に新しく入った本の中から、司書の田中先生にお勧めの本を紹介していただきます。

『戦争は女の顔をしていない』 小梅けいと著
スヴェトラナ・アレクシェーヴィチ原作
第二次世界大戦、ソ連(現ロシア)には、たくさん
の女性兵士が存在していました。実際に戦地の第一線にいた女性たちの回想をまとめたこの作品は、私たちが今まで知らなかった戦争の姿を教えてください。

『イモムシ偏愛記』 吉野万里子著
大好きなアイドルに近づくために、なぜかイモムシの世話係を任されてしまった風。大嫌いだったはずのイモムシだったが、不思議な愛らしさやいじらしさに魅了されるようになってしまう。だが、そんな穏やかな日々、不穏な影が忍び寄り…。中学三年生という多感な時期の少女の成長物語です。

